○道路交通網の整備

道路交通網の整備につきましては、町道祇園線、町道新井田1号・2号・3号線、町道樋の沢大佐線の整備を継続して実施してまいります。

また、県道平泉停車場中尊寺線の早期完成を図るため、引き続き県に協力してまいります。

平泉浄水場薬品注入機

○住宅・市街地の整備

住宅・市街地の整備につきましては、木造住宅耐震診断事業、木造住宅耐震改修事業および東日本大震災に伴う生活再建住宅支援事業を継続して実施してまいります。

町営住宅につきましては、適切な施設の管理に努めてまいります。

空き家対策につきましては、調査結果に基づいて「空家等対策計画」を策定し、適切な空き家対策を講じてまいります。

公園・緑地・水辺の整備につきましては、県道平泉停車場中尊寺線の道路整備に併せて県が整備する小公園について、早期に完成するように要望してまいります。

水辺プラザにつきましては、町民農園などが多くの町民に利用されるように、適切な維持管理に努めてまいります。

○景観の保全・整備

景観の保全・整備につきましては、豊かな自然と美しい景観を守り、次世代へ継承するため、道路、河川などの環境整備を関係機関ならびに町民の協力を得ながら引き続き実施してまいります。

また、「平泉の自然と歴史を生かしたまちづくり景観条例」と「平泉町屋外広告物条例」の周知を図り、官民一体となって世界文化遺産のまちにふさわしい景観の保持に努めてまいります。

さらに、良好な景観形成のため屋外広告物の改修について、引き続き支援をしてまいります。

○商工業の振興

商業の振興につきましては、平泉商工会などと連携した支援体制の整備により、地域に密着した魅力ある商店づくりを推進するとともに、道の駅平泉の開業に合わせた平泉らしい特産品の開発や、「浄土の風・平泉オンラインショップ」などを活用した販売促進を強化し、平泉ブランドの認知度を高めてまいります。

また、産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の認定を共同で受けた一関市と合同で創業支援セミナーを開催することによって、個店を開業するための知識やノウハウを学ぶ場を提供するとともに、「中尊寺通り賑わい創出事業」に継続して取り組み、中尊寺通りの活性化を図ってまいります。

空き店舗対策につきましては、空き店舗対策事業補助金制度の有効活用を促すことを通して、新規企業の参入に努めるとともに、店舗リフォーム補助金を新たに創設し、既存の商店を含めた商工業の活性化を図ってまいります。

工業の振興につきましては、平泉町中小企業振興資金貸付制度を活用し、中小企業が町内金融機関から低金利での融資を受けられるなど、資金調達の円滑化に向けての支援を継続してまいります。

また、町内に工場や設備を増設する際の補助や、自社製品や技術力を広く情報発信するため各種展示会に出展する際の経費補助を新たに導入することにより、既存企業の経営基盤と体質の強化を支援してまいります。

企業誘致につきましては、震災復興を支援する企業の情報を収集し、(仮称)平泉スマートインターチェンジの整備による立地の優位性をアピールしながら、高田前工業団地への誘致に積極的に取り組んでまいります。

また、企業懇談会を開催し、企業の動向やニーズを的確に把握し、企業支援や企業誘致などの施策への反映に努めてまいります。

黄金沢地区太陽光発電事業につきましては、本年8月の発電所稼働へ向けた事業の推進と併せて関連企業の立地を推進してまいります。

平泉町企業懇談会

○雇用対策

雇用対策につきましては、商工会やハローワークなどの関係機関と連携しながら職業相談に対応するほか、ふるさと就職ガイダンスの開催や若者等ふるさと就職支援事業補助金の利用促進を通じて、若年労働者の地元就職およびUターンなどを促進してまいります。

また、高齢者の安全・適正就業の推進のため、町シルバー人材センターへの運営費補助などの支援に努めてまいります。

○観光の振興

観光客の受け入れ態勢につきましては、平泉観光案内所の充実や新たに設置される道の駅平泉内の観光ガイダンス施設での案内業務を開始し、岩手の観光ゲートウエイ機能を果たせるよう観光協会と連携してまいります。

2次交通の充実につきましては、平成29年1月に実証運行を開始した仙台空港・松島・平泉線の活用を促すとともに巡回バスやレンタサイクルなどの効果的な運用を通して町内への回遊を図ってまいります。

また、国の施策や円安などを背景として外国人観光客が過去最高の入込数を記録し、今後ますます増加傾向にあることから、国や県、関係機関と連携した積極的な誘致活動に努めてまいります。

併せて、商工会と連携した消費税免税店や海外カード決済環境を整えるとともに、新たに国際交流員を観光商工課に1人配置し、各店舗や観光施設における外国人観光客の受け入れ相談に応じる体制の構築や多言語での情報発信などを強化してまいります。

さらに、当町と一関市において「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす「一関・平泉地域DMO」の設立の可能性について引き続き検討するほか、広域連携事業に取り組んでまいります。

○国際リニアコライダーの誘致

国際リニアコライダーの誘致につきましては、関係機関と連携を図りながら情報収集・意見交換を行い、普及啓発に努め、近隣市町とともに積極的に取り組んでまいります。

○安全安心なまちづくり

地域防災力の充実につきましては、消防施設の整備、消防車輌の計画的な更新、消防団員の確保に努め、消防団の強化を図り、町民の安全確保に努めてまいります。

また、防災対策につきましては、ハザードマップの見直しを行い、防災体制の強化や防災意識の高揚に向けた取り組みを推進し、地域防災力の向上を図ってまいります。

交通安全対策につきましては、警察や交通指導隊、交通安全母の会などの関係機関と連携を図りながら、高齢ドライバーの増加に伴う事故防止や死亡事故ゼロ日の継続など交通事故のない安全な町の実現に向けて取り組んでまいります。

災害時における要援護者につきましては、支援を適切に実施するため、避難行動要支援者避難支援計画に基づいて、民生委員、行政区など関係機関の協力を得ながら、避難行動要支援者の個別支援計画の策定を推進してまいります。

また、福祉避難所の設置につきましては、社会福祉法人などとの協議を踏まえて協定の締結に向けて努めてまいります。

○世界文化遺産の保存と活用

世界文化遺産に登録されました「平泉の文化遺産」につきましては、本年もさまざまな行事やイベント、多言語のVR(復元立体映像)やリニューアルしたホームページを通じて、歴史的・文化的価値と魅力を国内外に向け、発信してまいります。

また、「平泉世界遺産の日」の記念事業に取り組み、平泉の価値、理念の普及、後世へ引き継ぐ意識の醸成を図ってまいります。

遺跡の調査と整備につきましては、計画に基づいて無量光院跡、中尊寺大池伽藍跡の内容確認調査を進め、保護してまいります。

また、無量光院跡の整備を継続しながら暫定的に開園し、VRと併せて往時の姿を公開してまいります。

柳之御所遺跡と達谷窟の拡張登録につきましては、岩手県、一関市、奥州市と協力して調査研究を推進し、その機運醸成を図ってまいります。

無量光院跡の復元立体映像

○教育の振興

教育の振興につきましては、平泉町教育大綱に基づき「一人ひとりが輝き、幸せを実感できるまちの実現」を目指してまいります。

そのため、「学校」「家庭」「地域」の連携のもと、子どもたちの多様な個性と能力を伸ばし、地域を担い支え合うまちづくりと、世代を超えて「平泉の価値」を学ぶ「平泉学」の取り組みを軸にさらなる教育の推進を図ってまいります。

また、町民が生涯にわたって自主的・自発的に学習活動の継続を目指し、公民館における各種講座・教室の開設や図書館サービスの充実などに努め、生涯学習情報を発信し学習意欲の向上に努めてまいります。

「教育振興運動」につきましては、5者(子ども・保護者・学校・地域・行政)が連携して、教育課題の解決に向けた実践活動を推進してまいります。

体育館や図書館などの社会教育施設につきましては、昨年度に懇談会を開催した後、庁舎内にて検討してまいりましたが、さらに多くの皆さまからのご意見を踏まえ、優先順位を決定し、建設に向けて推進してまいります。

社会教育施設のあり方に関する懇談会

おわりに―

世界遺産登録5周年記念事業は、官民を挙げ取り組んでいただいた結果、観光客数が増加するなど、成功裏に終わりました。今後は、さらに10周年に向けて取り組んでまいります。

昨年度は、町民総参加のまちづくりの実現を推進するために、社会教育施設のあり方に関する懇談会、教育懇談会、地域農業を考える懇談会を開催し、またさまざまな機会を捉えて町政の発信に努め、多くのご意見を頂戴いたしました。そして本年度は、行政区ごとの地域懇談会を開催いたします。

これらによって集まりましたお考えをまちづくりに反映させ、町政を担っていく所存でありますので、忌憚なきご意見をお寄せください。

今回、提案いたしました平成29年度平泉町一般会計予算・特別会計予算・企業会計予算ならびにその他の議案につきまして、議員各位のご理解とご協力、そして町民の皆さま方の町政への参画を心からお願い申し上げまして、私の施政方針の表明といたします。

平成29年3月7日

平泉町長　青木　幸保